

※ 今週のアウトルック (3/2~3/6)

先週は、一転してドル売りが進む週となりました。
新型コロナ肺炎に対し各国が対策を講じる中、注目は世界経済、金融への影響に移ってきているようです。

今週は、ドル円が年初来安値付近のサポートラインを割り込むかどうかによって、今後の状況が大きく変わる可能性があります。

先週のドル円は、112円台のせを狙う状況から一転して、週末には一時的に107.5円付近まで下落しています。

今週は、米国金利の利下げ観測が拡大する中、107.5円付近のサポートラインを維持できるかどうかにより、今後の展開が大きく変わりそうです。

また、週末に控えた米国雇用統計にも注目が集まりそうですが、予想を裏切る様な悪化であった場合は、急落へのキッカケになってしまう可能性もありそうです。

ドル円の予想レンジは104.5円から110円です。

先週のユーロは、ユーロドルこそ上昇トレンドに乗っているものの、ユーロ円は118.5円付近のサポートラインまで一度は到達し、ここが破られた場合には117円付近までの下落の可能性が浮上してきます。

今週は、イタリアの新型コロナウイルス肺炎感染拡大の状況にも左右されそうですが、観光収入が大きいフランス、スペインなどへの影響も注目されそうです。

ユーロ円の予想レンジは117円から120円です。

ポンド円はこのところの下限である、140円付近のレジスタンスを割ってしまったようです。このまま持ち直しの様子が見られないようであれば、130円付近までの急落の可能性も浮上してくるように思います。

ポンド円の予想レンジは130円から142円です。

NYダウの急落などもあり、新型コロナウイルス肺炎の世界経済、金融への影響が本格的に注目され始めています。

NYダウが24,500ドル付近のサポートを割ってしまった場合には、パニック売りなどが誘発され、危険な状態となる可能性もありそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。